

岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)



令和 5年 6月29日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ミナチユウガクコウチイササエアイカツウシヨウインカイ
団体名 御南中学校区地域支え合い活動実行委員会
所在地 [Redacted]
連絡先 [Redacted]
フリガナ [Redacted]
代表者 役職・氏名 [Redacted]

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域支え合い活動「ハチドリのひとしずく」
事業実施小学校区・地区	西小学校区・御南小学校区
事業実施回数	☒ 新規 ☐ 継続 回目 / 【 年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 【地域の実情】 御南中学校区は、郊外型の新興住宅地や商業地から成る人口流動性の大きな地域であり、生活の利便性が良いことから通勤族を含む若い子育て世代が多く住んでいる一方で、地元で長く暮らしている高齢者も多く住んでいる地域です。 ・15歳未満児童数:5,228人 人口比率:16.3% (0-4歳:1816人, 5-9歳:1738人,10-14歳:1674人) ・65歳以上高齢者数:4,629人 人口比率:14.4% [岡山市統計データ:R5年4月現在] ①人口流動性の大きい御南中学校区では、住民の生活形態の違いや価値観の多様性を有する他、子どもの監護が困難な家庭が一定数の割合で存在している等で中学校が「荒れて」いた時期がありました。 この対応として、平成24年10月に御南中学校区地域協働学校を立ち上げ、「地域の子どもは地域で育てる」コンセプトの基に地域と学校園が協力して子ども達を見守り・育む活動を開始し、現在も地域の最重要課題として継続して取り組んでいます。 地域住民は、地域協働学校を構成する6部会に分かれ活動しており、中でも以下の2部会は「小学生の段階で郷土愛を育むことを目指し」地域力を結集して活動しています。 ・地域連携推進部会:地域行事を企画・開催し、児童と保護者の参加を促し、中学生ボランティアの協力を得て地域住民との交流促進を図る、ことを推進する部会 ・就学前保育教育部会:私立や小規模園を含む保育園・幼稚園・子ども園を対象に、幼児の安全・安心への取組み、支援を必要とする子どもの就学相談、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿、地域との連携、の情報交換と講話会等の実践を推進する部会 一方、就園前の乳幼児の見守りは、地域で見守る仕組みが無く脆弱な状況です。

課題	②御南中学校区には、高齢化率は低いですが4,600人を超える高齢者の方がお住まいです。又、学区内には、ひらた旭川荘,児童養護施設南野育成園等の福祉施設やグループホーム,県立岡山西支援学校が在り、大勢の障がい者、生活弱者の方が学び生活されています。 中学校区では、子ども～高齢者、新旧の住民、健常者・障がい者・生活弱者の方等、総ての住民が「支え合い・笑顔でふれあい・ゆとりを持って」共に生きることができる福祉の町づくりを目指しており、学校園、福祉施設を含む諸団体が協働し、交流の場づくり、居場所づくり、生きがいづくりに取り組んでいます。 【解決を図りたい課題】 ①御南中学校区では、子どもを基軸においた町づくりを進めていますが、この町づくりにおける重要課題は、核家族化の影響による子育て世代の孤立化の解消です。 具体的には、御南中学校区には、転勤等で転入されて来た子育て世代や就園年令に達していない子育て世代が一定数いますが、その大多数は核家族であり新たな居住地での子育てに不安や悩みを抱えられており、子育て支援の場を必要とされています。 ②若い子育て世代を中心にした新しい住民が増えています、昔から住んでいる住民との交流の場が少なく、新旧の住民間に溝が生じており、この溝の解消が必要です。 又、現状の地域運営は、昔から住んでいる住民が中心になって担っていますが、当中学校区で多数を占め今後を担うのは転入されてきた子育て世代の住民であり、新旧住民間での伝承活動の推進が重要課題のひとつです。 この課題解決には、先ずは地域活動に興味を持ってくれる住民を増やすことであり、その手法の一つとして「交流の場をつくり、増やす」ことが今取り組むべき課題の一つです。 【①の課題の取組み状況】 ・御南西公民館においては、地域住民が主体的に関わる3コースの子育て支援講座を各々月1回程度開催していますが、受入人数に制限がある、決められたプログラムで進行するので自分の都合の時間帯で参加できない、開催日数が月1回以下と少ない、等の利用し難い面があり、利用者の多様なニーズに応えきれない面があります。 ・御南小学校区においては、御南西公民館の実情を踏まえ、平成27年からベターライフ御南とNPO岡山市子どもセンターが協働し、旧白石幼稚園跡地を会場に子育て支援事業「御南和やかサロン」を週2日開催しており、現在は15組の親子が利用しています。 ・西小学校区においては、(株)ミナモト建築工房が母体のボランティア団体「くらしのたね」が、令和4年度から自社ビルを会場に12組の就園前親子の子育て支援事業を開始しました。当事業に対する地域のニーズは高く、令和5年5月時点で23組の就園前親子が利用しており事業規模(場所・内容)を拡充し対応していますが、いちボランティア団体が主体の事業形態では今後も安定して事業を持続することが困難になると予測しています。 「くらしのたね」が主催している子育て支援事業は、御南中学校区が目指している方向性と合致しており、中学校区全体で継続して取り組むべき事業なので、御南中学校区の諸団体が協働する実行委員会を立ち上げ、「くらしのたね」が主催している子育て支援事業と地域交流事業を継承することを決め、区づくり推進事業に申し込んでおります。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 ①子育てを始めた若い子育て世代を経験豊かなボランティアスタッフが支えることで子育て世代の孤立化を防ぎ、子育てが楽しいと思える親を育て親子の情愛を深める活動を目指します。 更に、幼児期から地域住民とふれあい・交流し・会話することで、親子の自己有用感を醸成し高める活動にしたいと考えています。 ②産前産後から子育て期間中の切れ目なく支え合う場づくり活動を通して、子育てし易い地域・暮らしやすい地域づくりを目指します。 ③地域の新旧の住民が交流する場づくり活動を定期的且つ継続して実施することで、多世代間に顔の見える関係性を構築し、災害発生時等に支え合える地域づくりを目指します。 又、活動の中で地域運営の担い手を見だし育む活動にしたいと考えています。 ③地域の高齢者が、小さな子どもや多世代の人とふれあい支え合い活躍することで、やりがい、生きがいに繋がる活動を目指します。

事業の内容・感染防止対策の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 1. 地域子育て支援事業「たねっこ」(仮称)の開催 現在、くらしのたねが主催している「自主保育・たねっこ」事業と、「ネウボラおかやま つながるおしゃべり会」の枠組みを見直し、「地域で子どもを育てる」をコンセプトに地域子育て支援事業「たねっこ」(仮称)にリニューアルし開催します。 事業名称については、現在の利用者に親しまれ愛されている「たねっこ」を継承したいとの意見が多数ですが、リスタートに合わせ名称を変えてはとの意見もありますので、今後検討を重ねて決定します。 ・現在の「自主保育・たねっこ」の枠組み 令和4年4月～専門職スタッフ(有償ボランティア)4名を中心に地域のボランティアスタッフ2名が参画し、月4回(毎週金曜日)子育て支援活動をサロン形式で行っています。 ・現在の「ネウボラおかやま つながるおしゃべり会」の枠組み 令和4年4月～専門職スタッフ3名＋支援スタッフ1名体制で月4回(毎週木曜日)開催。 令和5年4月～専門職スタッフ2名体制で月1回(金曜日) たねっこと同じ場所・時間で開催。 両事業とも、専門職スタッフを配置し、安全・安心感を担保し運営しています。 ○地域子育て支援事業「たねっこ」(仮称)の枠組み 自主保育・たねっこ ⇒ 子育て支援事業「たねっこ」(仮称)に移行します。 ネウボラおかやま つながるおしゃべり会 ⇒ 副題を「子育て支援事業「たねっこ」・産前産後のおはなし会」主題を「ネウボラ つながるおしゃべり会」に呼称変更し、子育て支援事業「たねっこ」(仮称)で実施する一つの活動に位置づけて実施します。 専門職スタッフ5名(1名減)と地域のボランティアスタッフ6名(4名増)体制をとり、安全・安心感を担保しつつ地域のボランティアスタッフを養成しながら運営し、将来は専門職スタッフを地域のボランティアスタッフに順次置き替えることを目指します。 ○活動内容の見直し ・子育て支援事業「たねっこ」(仮称)の活動は、現在の活動内容を踏襲した上で、屋外活動を追加しています。 ・産前産後のおはなし会は、子育てにおける悩み事を話し合い、相談する場を通して、親子の心身面の不安を和らげ且つ前向きな姿勢に導くことを目指した活動とします。 ・産前産後のおはなし会のスタッフには、参加者との信頼関係の構築が必要なので、現在担当している専門職スタッフを中心に運営します。(地域ボランティアスタッフも経験を積むために参加し、スキル習得・スキル向上に努めます) ○専門職スタッフ(有償ボランティア)の経費処理 現在の活動は、専門職スタッフが大勢関与しており、専門職スタッフが関与している活動を申請から除外することは現実的ではないので、専門職スタッフの経費は別枠で管理することにし、区づくり推進事業の対象外としています。 ○開催場所:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ に変更 令和4年度は くらしのたねビルで開催していましたが、利用者の増加により くらしのたねビルでの開催が事実上できなくなりました。定期的且つ継続して使用できる場所は近隣では市有施設の北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザしか無いため令和5年度は当施設を賃借して事業を開始しています。 当公園は地域防災拠点であることに加え、「人々がかかわることで育まれる都市の森」をコンセプトに、たくさんの方々に日常的に利用していただき、健康増進や賑わい創出を目指してしていますので、学区民の集い・交流の場に適していると判断しており、当該施設の賃借を継続した事業実施を計画しています。 ①地域子育て支援事業「たねっこ」(仮称)の事業内容 地域住民・地域団体が主体になり、「みんなでみんなを見る」スタイルで子どもを真ん中に多世代が交流できる活動を行います。 開催日時:毎週金曜日 10:00～14:00 対 象:御南中学校校区を中心とした就園前・就学前の親子。 ※体験参加は随時可能 活動内容:○お誕生会(毎月1回) ○季節の行事 ○手づくり調理(味噌、梅仕事等)
-----------------	---

事業の内容・感染防止対策の内容	○工作活動 ○身体測定 ◎公園の中で自然体験(外遊び、お散歩) ◎野外調理 ◎農園活動(ランチ内花壇) ◎講演会・勉強会(年2回) ○産前産後のおはなし会(月1回開催) ※随時参加可能 [○は以前から実施している事業 ◎は場所変更に伴い追加した事業] ※活動には、多世代の地域の方が見守りボランティアとして参加し、親子にとって、家族でも、教師でもない第三者との関係＝「ななめの関係」づくりを目指しています。 2. 地域支え合い活動【ミナモト建築工房くらしのたねビルで実施する事業】 ミナモト建築工房くらしのたねビルは災害時一時避難場所に指定されています。避難場所の周知と地域交流の場づくりのために以下の事業を実施します。 ②新春おかげまつり 開催日時:毎年1月開催 対 象:西小学校区を中心とした地域の方(地域による制限なし) 活動内容:災害時一時避難場所のくらしのたねビルに地域の老若男女が集い、災害発生を想定した避難訓練や炊出しの要素を含めた、地域の交流祭を開催します。 地域住民、中学生ボランティア、岡山大学教育学部ボランティアが一堂に集い、赤飯、豚汁、甘酒を作り、多世代参加の巨大カルタとり大会、けん玉大会、獅子舞演舞を楽しむ、等々多世代で日本の文化にふれながら交流します。 ③敬老の日「ばら寿司」交流会 開催日時:毎年 9月開催 対 象:主に西学区在住の方(地域・年齢制限なし) 配食は70歳以上の高齢者 活動内容:岡山の郷土料理「ばら寿司」を地域の有志と御南中学生ボランティア、地域の子ども達で作り、会食、交流すると共に、70歳以上の高齢者に配食します。 3. 御南西公民館(指定避難所)との共催による子育て支援活動 ④子育て座談会 ～発達障害を考えよう～ の開催 開催日時:毎月 1回開催 協働団体:社会福祉法人南野育成園 対 象:発達障害に関心のある地域のどなたでも 活動内容:「発達障害」をテーマに、地域の当事者、保護者、地域住民、協力団体等がざっくばらんに対話し、発達障害の理解を深めます。 4. その他本事業に関連する取組み ⑤地域団体との協働・企画会議の実施(月1回) 月1回の企画会議を開催し、事業計画策定や詳細決め、活動の振り返り、新たな課題や地域情報の共有を行います。 ○感染防止対策の内容 (一律に対応を求めるものではありません) ※自主的な判断により取り組む感染防止対策があれば、その内容・方法などを記入してください。 ・毎回の利用者受付時、個人の判断により手指消毒ができるよう、消毒液を準備します。 ・体調不良の場合は、参加をご遠慮いただくことを事前に伝えます。 ・調理時は、使い捨て手袋を必要に応じて着用するなど、新型コロナウイルス感染症の為だけではなく、衛生管理にも気を付けます。 ・室内はドアや窓を開け、換気を行います。

期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで達しておきたいか「目標」を記入してください。 ・子育て支援活動によって、子育てを地域の人々で見守ることで「ひとりじゃない」安心感を生み、産後鬱、育児ノイローゼなどで悩む保護者が減少することを期待しています。 ・当公園で地域主体の子育て支援活動を実施することは、「人格形成期」と呼ばれる乳幼児期にとって重要な自然体験(季節ごとの特色ある自然を肌で感じる)を実践でき、「生きる力」を育むことが期待できます。 ・活動を、北長瀬未来ふれあい総合公園(地域防災拠点)、くらしのたねビル(岡山市災害時一時避難場所)、御南西公民館(指定避難所)の3拠点を中心に行い、それを広報することで、地域住民の防災意識を喚起し「災害に強い地域づくり」に貢献することが期待できます。 ・多世代が交流し繋がることで「顔の見える関係性」が構築でき、災害発生時に支え合える「災害に強い地域づくり」に貢献することが期待できます。 ・高齢者のやりがい、生きがいにつながり、地域がさらに活性化することが期待できます。 ・中学生や大学生の参加・協力を得ることで活動の厚みが広がり、地域の活性化が一層増すことが期待できます。 また中学生については、地元への愛着心を育み、地域の次世代の担い手となることを期待しています。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 ・御南中学校区は、子育て世代と転勤族が多い地域性から郷土愛が希薄な部分があります。子育て世代を真ん中におき 自己有用感を育む事業展開を推し進め、郷土愛の醸成と地域力向上につなげます。 ・地域のシンボリック的存在であり災害時は地域の防災拠点となる北長瀬未来ふれあい総合公園で幅広い地域活動を行う事で、様々な住民に地域づくりの様子をお伝えでき、また参加して頂くことができます。 又、当該公園を開催場所とすることで、以前はできなかった屋外活動ができ、利用者が活躍できる場が広がります。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 西学区連合町内会、御南学区連合町内会、くらしのたねを中心に実行委員会を構成します。尚、期日は当事業実施に 日の長がある「くらしのたね」が中心的役割を担います。 ①西学区愛育委員会、②御南学区愛育委員会:実行委員会への参画と事業協力 ③西学区婦人会:子育て支援活動や新春おかげまつりへの協力 ④西地区社会福祉協議会、⑤御南学区社会福祉協議会:実行委員会への参画と事業協力 ⑥辰巳町内会:敬老の日「ばら寿司」交流会への協力、子育て支援活動への協力 ⑦御南西公民館:子育て座談会等の共催活動、御南西公民館便りへの広報 ⑧ベターライフ御南:実行委員会への参画と事業協力 ⑨(株)ミナモト建築工房:会場の無償提供の協力等 ⑩岡山市立御南中学校、⑪岡山大学教育学部:学生ボランティアスタッフの参加協力 ⑫社会福祉法人南野育成園:子育て座談会への協力 ⑬都市の森ファーマーズクラブ(TFC):子育て支援活動への協力、農園活動への協力 ⑭山陽学園大学:インターン実習による活動参加、学生ボランティアの参加協力
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ・くらしのたねInstagram、Facebook、HP等のSNSによる広報。 ・西学区電子町内会への掲載。 ・西学区町内会、御南学区町内会への広報誌の回覧。 ・西学区の教育保育機関への広報。 ・御南西公民館の公民館便りへの広報掲載。

学区・地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 ・初年度はこの事業が円滑に推進できるように、実践を中心に多くの地域住民とのかかわりを持ちながら活動していき、日々の活動記録をノウハウとして蓄積していきます。 ・西学区を中心に広報活動を行っていたので、御南学区への広報誌回覧を開始します。 ・御南学区在住の中学生ボランティアに積極的に参加して頂き、御南学区に帰り広報して頂くことで御南学区への浸透を図ります。 ・ベターライフ御南との情報交換を定期的に行い、情報の共有化を図ります。 ・SNS ツールを活用することで、他の学区へ情報発信しノウハウの共有化を図ります。
前年度からの見直し・拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。 新規事業
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 持続可能な地域活性化のための事業として、来年度はさらに利用者、共感者を増やすことを心がけ、内容を見直しながら継続していきます。 ②資金の確保について ☒次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	・事業名称に使用している「ハチドリのひとしずく」は、南米のアンデス地方に伝わる話で、明治学院大学国際学部教授の辻信一さんが翻訳し日本に紹介してくださいました。 「森が燃えていました 森の生きものたちはわれ先にと逃げていきました でもクリキンディという名のハチドリだけは いったりきたり 口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは 火の上に落としていきます 動物たちがそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」といって笑います クリキンディはこう答えました「私は、私にできることをしているだけ」 - この話しに感銘を受けた、本会会長は様々な場面で「ハチドリのひとしずく」の話しを紹介しています。メンバー一同この精神を忘れずに実践して行きます。 ・四季を大切にしたい年間スケジュールを決め、利用者の募集・決定を行います。随時での参加希望者は受け入れ可能な体制をとっています。 ・多様な、住民・団体・企業・公的機関との連携により、地域で子育てしやすいまちづくりのモデルケースとなることを目指します。 ・御南西公民館との共済事業の「子育て座談会」は、当初当団体単独で始めた事業ですが、公民館との共催開始から3年目を迎えることができ、地域に根付いた活動となっています。

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・9月1日,8日,15日,22日,29日 子育て支援事業「たねっこ」開催 [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・9月18日(月・祝) 敬老の日「ばら寿司」交流会(於:ミナモト建築工房くらしのたねビル) ・9月19日(火) 子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(於:御南西公民館)
10月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・10月6日,13日,20日,27日 子育て支援事業「たねっこ」開催 [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・10月17日(火) 子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(於:御南西公民館)
11月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・11月10日,17日,24日 子育て支援事業「たねっこ」開催 [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・11月21日(火) 子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(於:御南西公民館)
12月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・12月1日,8日,15日,22日 子育て支援事業「たねっこ」開催 [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・12月19日(火) 子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(於:御南西公民館)
1月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・1月12日,19日,26日 子育て支援事業「たねっこ」開催 [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・1月16日(火) 子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(於:御南西公民館) ・1月8日(月・祝) 新春おかげまつり(於:ミナモト建築工房くらしのたねビル)
2月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・2月2日,9日,16日 子育て支援事業「たねっこ」開催 [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・2月20日(火) 子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(於:御南西公民館)
3月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・3月1日,8日,15日,22日 子育て支援事業「たねっこ」開催 [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・3月19日(火) 子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(於:御南西公民館)

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金		1,208,400	1,158,400円+新型コロナ50,000円
実施団体負担金		0	
参加者負担金		270,000	子育て支援活動参加費189,000円(1,000円×27組×7ヶ月)、手づくり調理81,000円(1,500円×27組×2回)
参加者負担保険料		3,200	障害保険800円/年×4組
協賛金		11,500	ミナモト建築工房
寄附金、他収入		5,000	地域団体、住民等
収入合計	0	1,498,100	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費		330,000	調理器具(フライパン、鍋、ボウル等)キャンプテーブル、バケツ、水タンク、タープ、カート、子育てに関する書籍、ブルーシート、ホワイトボード(小)、棚、ケース、文房具、連絡ノート、画用紙、新春おかげまつり炊き出し容器等
②食糧費		10,800	会議用お茶、行事用お茶
③印刷製本費		24,500	広報誌、企画会議資料印刷 @5円×700枚×7ヵ月
④燃料費		15,000	野外調理炭代、ガス代、カセットボンベ代
⑤光熱水費		0	
⑥通信運搬費		5,000	協働団体等への企画会議案内、広報誌等の郵送等
⑦広告料		0	
⑧手数料		3,000	振込手数料等
⑨使用料・賃借料		369,200	会場使用料286,000円(@11,000円×26回) 駐車場代83,200円(400円×8名×26回)
⑩原材料費		592,000	たねっこ野外調理原材料※昼食とおやつ351,000円(500円×27組×26回) 手づくり調理81,000円(1,500×2回×27組) ばら寿司原材料費80,000円 新春おかげまつり炊き出し材料費80,000円
⑪委託料		15,400	新春おかげまつり警備員1名
⑫工事請負費		0	
⑬報償費		70,000	講師代20,000円(10,000円×2回) 出演謝礼50,000円×1名
⑭保険料		3,200	個別傷害保険800円/年×4組
⑮旅費		10,000	10,000円×1名
小計(①)	0	1,448,100	
⑯新型コロナウイルス感染症防止対策経費		50,000	アルコール消毒液、非接触型温度計、ビニール手袋、アルコール消毒スプレー、ウェットティッシュ、ペーパータオル等
小計(②)	0	50,000	
支出合計(①+②)	0	1,498,100	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ 希望しない
----------------	--------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

消耗品購入など、事業開始後すぐに支出が生じ、それを円滑に支払う必要があるため。